資料-1

令和２年度 第２回熊本市多核連携都市推進協議会

令和 ２年 １１月２４日(火)１３：００～
市役所１４階ホール

次　　第

１　開　会

２　会　長　挨　拶

３　協　議　事　項
　　・立地適正化計画のたたき台について

４　閉　会

〈配布資料〉
資料-1　次第
資料-2　委員名簿
資料-3　座席表
資料-4　スライド資料
資料-5　説明資料（協議事項）

資料-2

令和2年度 熊本市多核連携都市推進協議会　委員名簿

（敬称略・順不同）

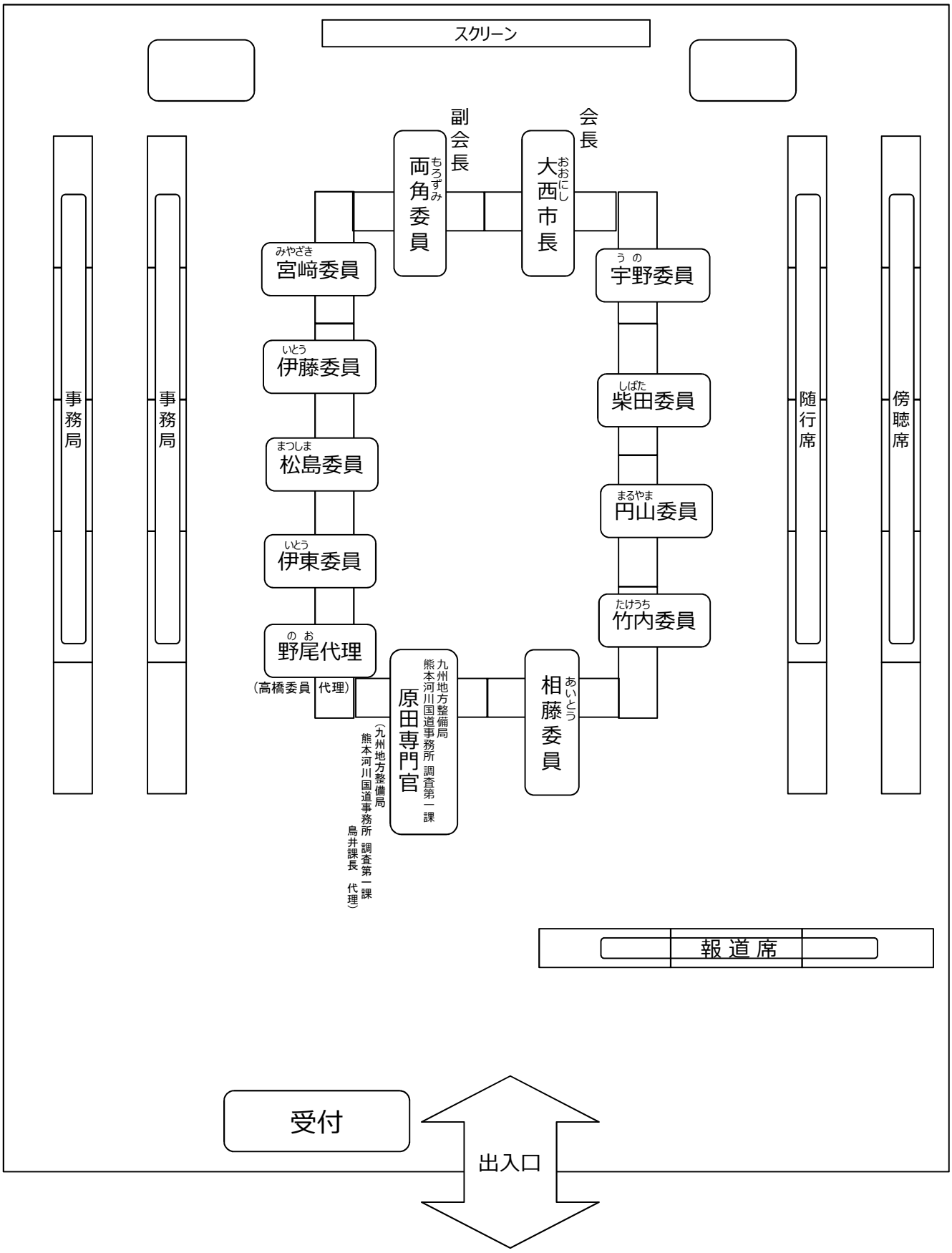
種別	分野	委員	よみがな	役職等
会長		大西　一史	おおにし　かずふみ	熊本市長
学識経験者（６名）	都市計画	両角　光男	もろずみ　みつお	熊本大学　名誉教授
	経済政策	宇野　史郎	うの　しろう	熊本学園大学　名誉教授
	農業・地域	柴田　祐	しばた　ゆう	熊本県立大学　環境共生学部　教授
	交通計画	円山　琢也	まるやま　たくや	熊本大学　くまもと水循環・減災研究教育センター　准教授
	地域防災	竹内　裕希子	たけうち　ゆきこ	熊本大学　大学院先端科学研究部　准教授
	福祉	相藤　絹代	あいとう　きぬよ	熊本学園大学　社会福祉学部
民間団体等（６名）	医療	池上　あずさ	いけがみ　あずさ	一般社団法人　熊本市医師会　理事
	高齢者福祉	宮﨑　千恵	みやざき　ちえ	熊本市老人福祉施設協議会　会長
	児童福祉	伊藤　大介	いとう　だいすけ	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会　会長
	教育	松島　雄一郎	まつしま　ゆういちろう	熊本市ＰＴＡ協議会　会長
	経済	丸本　文紀	まるもと　ふみのり	熊本商工会議所　常議員
	住宅	川口　雄一郎	かわぐち　ゆういちろう	公益財団法人 日本賃貸住宅管理協会熊本県支部　顧問
市民（２名）	公募	伊東　洋	いとう　ひろし	
	公募	遊佐　淑代	ゆさ　としよ	
関係行政機関（１名）	熊本県	高橋　太朗	たかはし　たろう	熊本県　企画振興部長

※丸本委員、川口委員、遊佐委員は当日欠席

令和2年度 第2回熊本市多核連携都市推進協議会

日時：令和2年（2020年）11月24日(火) 13時00分から

場所：熊本市役所 14Fホール



令和２年
第2回熊本市多核連携都市推進協議会

R2.11.24（火）　13:00～

熊本市　都市政策課

●立地適正化計画改定（たたき台）の構成について

立地適正化計画改定の構成

１章　立地適正化計画の概要

２章　熊本市を取り巻く現状把握等

３章　熊本市における立地適正化計画

４章　都市機能誘導区域

５章　誘導施設

６章　居住誘導区域

７章　都市機能の具体及び人口密度を維持・確保するための施策

８章　防災指針

９章　目標値の設定

１０章　施策達成状況に関する評価方法

用語等の修正や統計等のデータ更新

目標値の達成状況や現状の調査・分析等、評価

Point1

都市機能集積や居住誘導等に関する施策の方向性の盛り込み

現計画で示す“施策展開の基本的な考え方”に、評価結果や防災視点の強化等を踏まえた“都市機能集積や居住誘導等に関する具体的な施策の方向性”を追加。

Point2

防災視点の強化（「防災指針」の追加）

防災指針

１．防災指針とは
２．各地域における災害リスク分析と課題の抽出
　(1)ハザード情報等の収集、整理
　(2)災害リスクの高い地域等の抽出
　(3)各地域における防災上の課題の整理
３．防災まちづくりの将来像と取組方針
　(1)防災まちづくりの将来像
　(2)取組方針
４．具体的な取組
５．今後の進め方

（１）都市機能集積や居住誘導等に関する施策の方向性の盛り込み

（１）都市機能集積や居住誘導等に関する施策の方向性の盛り込み

○現計画で示す “施策展開の視点” に、評価結果や防災視点の強化等を踏まえた “都市機能集積や居住誘導等に関する具体的な施策の方向性”を盛り込み。

施策展開の視点（現計画）

①都市機能誘導区域における都市機能の維持・確保

②居住誘導区域における人口密度の維持

③地域コミュニティの維持活性化

④公共交通ネットワークの充実

○目標値の達成状況や現状の調査・分析等、評価結果

○防災視点の強化や行動様式の変化など考慮すべき新たな視点
- ・気候変動による水災害リスクの激甚・頻発化
- ・「コロナ禍」、「「５Ｇ」などデジタル技術変革」などの社会情勢の変化

＋

○各委員より頂いたご意見等
- ・地域拠点毎の特性把握や施策などの必要性
- ・空き家・低未利用地活用の必要性
- ・地域拠点の拠点性維持・拡充施策の検討
- ・建蔽率の緩和など規制緩和
- ・市街化調整区域における土地利用の方向性など

施策の方向性及び具体的施策の盛り込み

（１）都市機能集積や居住誘導等に関する施策の方向性の盛り込み

○協議会や部会等におけるご意見などを踏まえ、各視点における施策の方向性を位置付け、それぞれ具体的な施策を整理。

中心市街地を含めた**地域拠点の機能強化**を推進

①都市機能誘導区域における都市機能の維持・確保

方向性
1 中心市街地のにぎわい創出
2 都市のスポンジ化対策
3 都市計画制度等の活用による都市機能の維持・確保
4 社会福祉施設等の維持・確保
5 魅力あふれる都市空間の形成　など

②居住誘導区域における人口密度の維持

方向性
1 空き地等の解消・良好な道路空間確保
2 都市計画制度等の活用による居住の誘導
3 民間建築物の防災機能強化
など

③地域コミュニティの維持活性化

方向性
1 地域コミュニティ活動の支援
2 農業の多面的機能の促進
3 市街化調整区域における開発行為の厳格化　など

④公共交通ネットワークの充実

方向性
1 基幹公共交通の強化
2 バス路線網の再編
3 コミュニティ交通の導入
4 公共交通の利用促進　など

⑤防災視点の強化

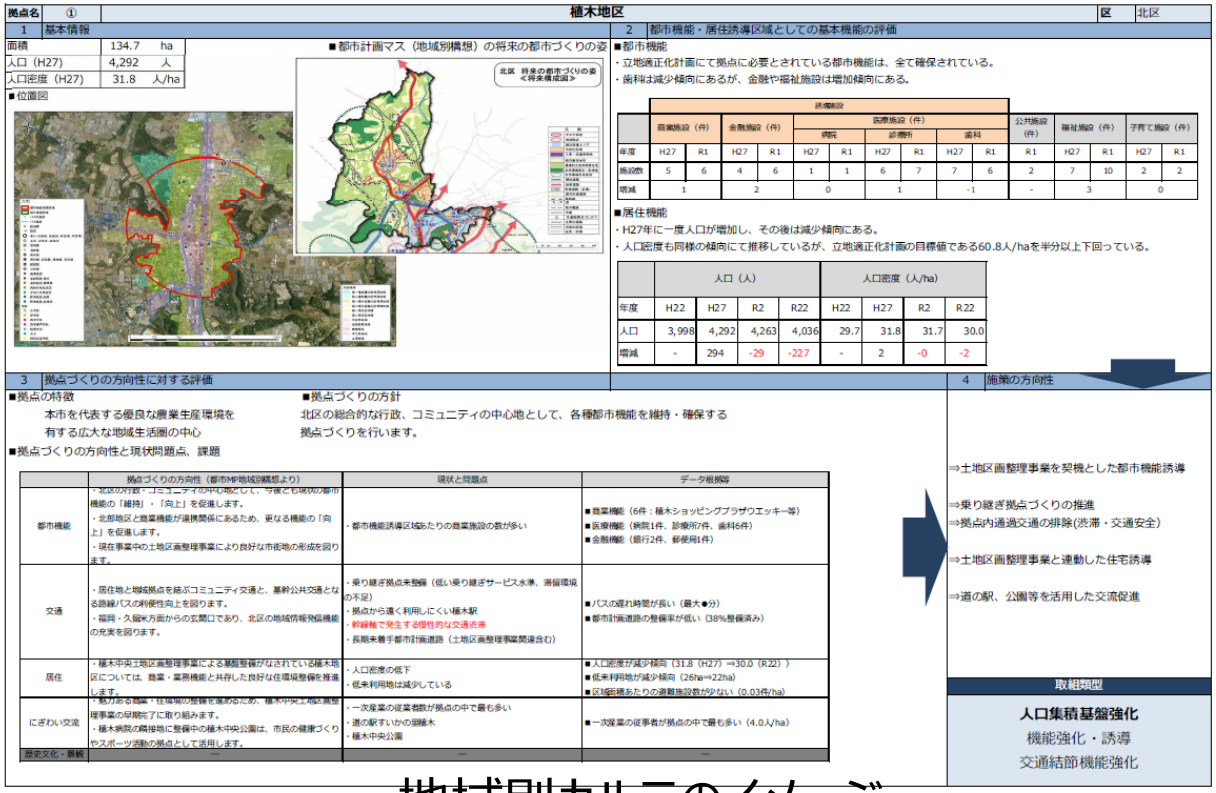
・ハード、ソフト面の取組によるリスク回避・低減
⇒８章「防災指針」に詳細を記載

方向性

（1）都市機能集積や居住誘導等に関する施策の方向性の盛り込み

○今後、各地域拠点における地域特性を踏まえた施策を、適宜、立地適正化計画に反映

地域の特性を踏まえた整備・支援スキームの検討(地域別カルテの作成)
- ・機能強化・誘導　　・交通結節機能強化
- ・地域資源活用　　・人口集積基盤の強化　等



拠点名 ① 植木地区　区 北区

1 基本情報

面積	134.7 ha
人口（H27）	4,292 人
人口密度（H27）	31.8 人/ha

■位置図

■都市計画マス（地域別構想）の将来の都市づくりの姿

2 都市機能・居住誘導区域としての基本機能の評価

■都市機能
・立地適正化計画にて拠点に必要とされている都市機能は、全て確保されている。
・歯科は減少傾向にあるが、金融や福祉施設は増加傾向にある。

	誘導施設															
	商業施設（件）		金融施設（件）		医療施設（件）						公共施設（件）	福祉施設（件）		子育て施設（件）	
					病院		診療所		歯科						
年度	H27	R1	H27	R1	H27	R1	H27	R1	H27	R1	R1	H27	R1	H27	R1
施設数	5	6	4	6	1	1	6	7	7	6	2	7	10	2	2
増減	1		2		0		1		-1		-	3		0	

■居住機能
・H27年に一度人口が増加し、その後は減少傾向にある。
・人口密度も同様の傾向にて推移しているが、立地適正化計画の目標値である60.8人/haを半分以上下回っている。

	人口（人）				人口密度（人/ha）			
年度	H22	H27	R2	R22	H22	H27	R2	R22
人口	3,998	4,292	4,263	4,036	29.7	31.8	31.7	30.0
増減	-	294	-29	-227	-	2	-0	-2

3 拠点づくりの方向性に対する評価

■拠点の特徴
本市を代表する優良な農業生産環境を有する広大な地域生活圏の中心

■拠点づくりの方針
北区の総合的な行政、コミュニティの中心地として、各種都市機能を維持・確保する拠点づくりを行います。

■拠点づくりの方向性と現状問題点、課題

	拠点づくりの方向性（都市MP地域別構想より）	現状と問題点	データ根拠等
都市機能	・北区の行政・コミュニティの中心地として、今後とも現状の都市機能の「維持」・「向上」を促進します。 ・北部地区と商業機能が連携関係にあるため、更なる機能の「向上」を促進します。 ・現在事業中の土地区画整理事業により良好な市街地の形成を図ります。	・都市機能誘導区域あたりの商業施設の数が多い	■商業機能（6件：植木ショッピングプラザウエッキー等） ■医療機能（病院1件、診療所7件、歯科6件） ■金融機能（銀行2件、郵便局1件）
交通	・居住地と地域拠点を結ぶコミュニティ交通と、基幹公共交通となる路線バスの利便性向上を図ります。 ・福岡・久留米方面からの玄関口であり、北区の地域情報発信機能の充実を図ります。	・乗り継ぎ拠点未整備（低い乗り継ぎサービス水準、滞留環境の不足） ・拠点から遠く利用しにくい植木駅 ・幹線軸で発生する慢性的な交通渋滞 ・長期未着手都市計画道路（土地区画整理事業関連含む）	■バスの遅れ時間が長い（最大●分） ■都市計画道路の整備率が低い（38%整備済み）
居住	・植木中央土地区画整理事業による基盤整備がなされている植木地区については、商業・業務機能と共存した良好な住環境整備を推進します。	・人口密度の低下 ・低未利用地は減少している	■人口密度が減少傾向（31.8（H27）⇒30.0（R22）） ■低未利用地が減少傾向（26ha⇒22ha） ■区域面積あたりの避難施設数が少ない（0.03件/ha）
にぎわい交流	・魅力ある職業・住環境の整備を進めるため、植木中央土地区画整理事業の早期完了に取り組みます。 ・植木病院の隣接地に整備中の植木中央公園は、市民の健康づくりやスポーツ活動の拠点として活用します。	・一次産業の従業者数が拠点の中で最も多い ・道の駅すいかの頭植木 ・植木中央公園	■一次産業の従事者が拠点の中で最も多い（4.0人/ha）
歴史文化・景観	—	—	—

4 施策の方向性

⇒土地区画整理事業を契機とした都市機能誘導

⇒乗り継ぎ拠点づくりの推進
⇒拠点内通過交通の排除(渋滞・交通安全)

⇒土地区画整理事業と連動した住宅誘導

⇒道の駅、公園等を活用した交流促進

取組類型
人口集積基盤強化
機能強化・誘導
交通結節機能強化

地域別カルテのイメージ

施策の推進に向けた地域の理解促進、合意形成

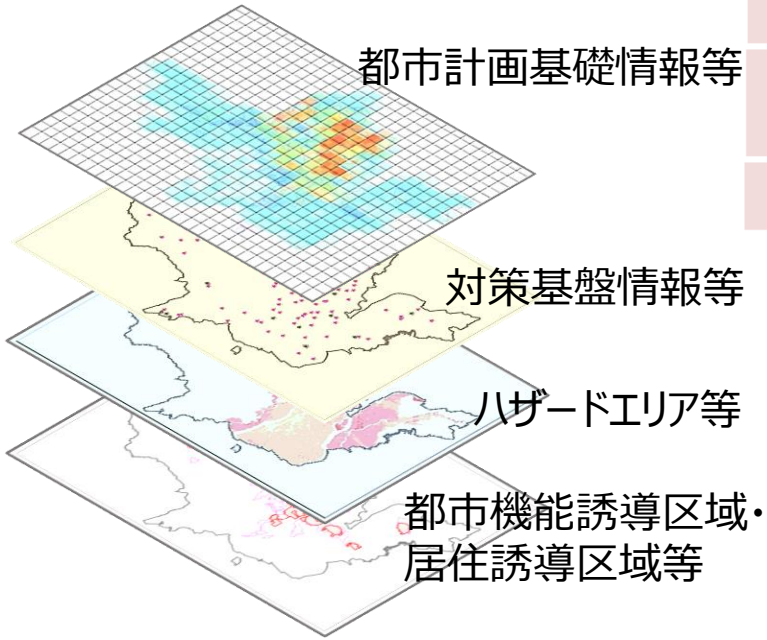
合意形成後、適宜、新たな施策等について立地適正化計画に反映

⑵防災視点の強化（「防災指針」の追加）

（２）防災視点の強化（「防災指針」の追加）

○防災担当部局等が保有するハザード情報と都市部局が保有する都市情報等を組み合わせることなどにより、各地区における災害リスク分析を実施。

○分析結果のうち、防災のための取組や行動につながるものを“目安”として明示



▲分析(組み合わせ)のイメージ

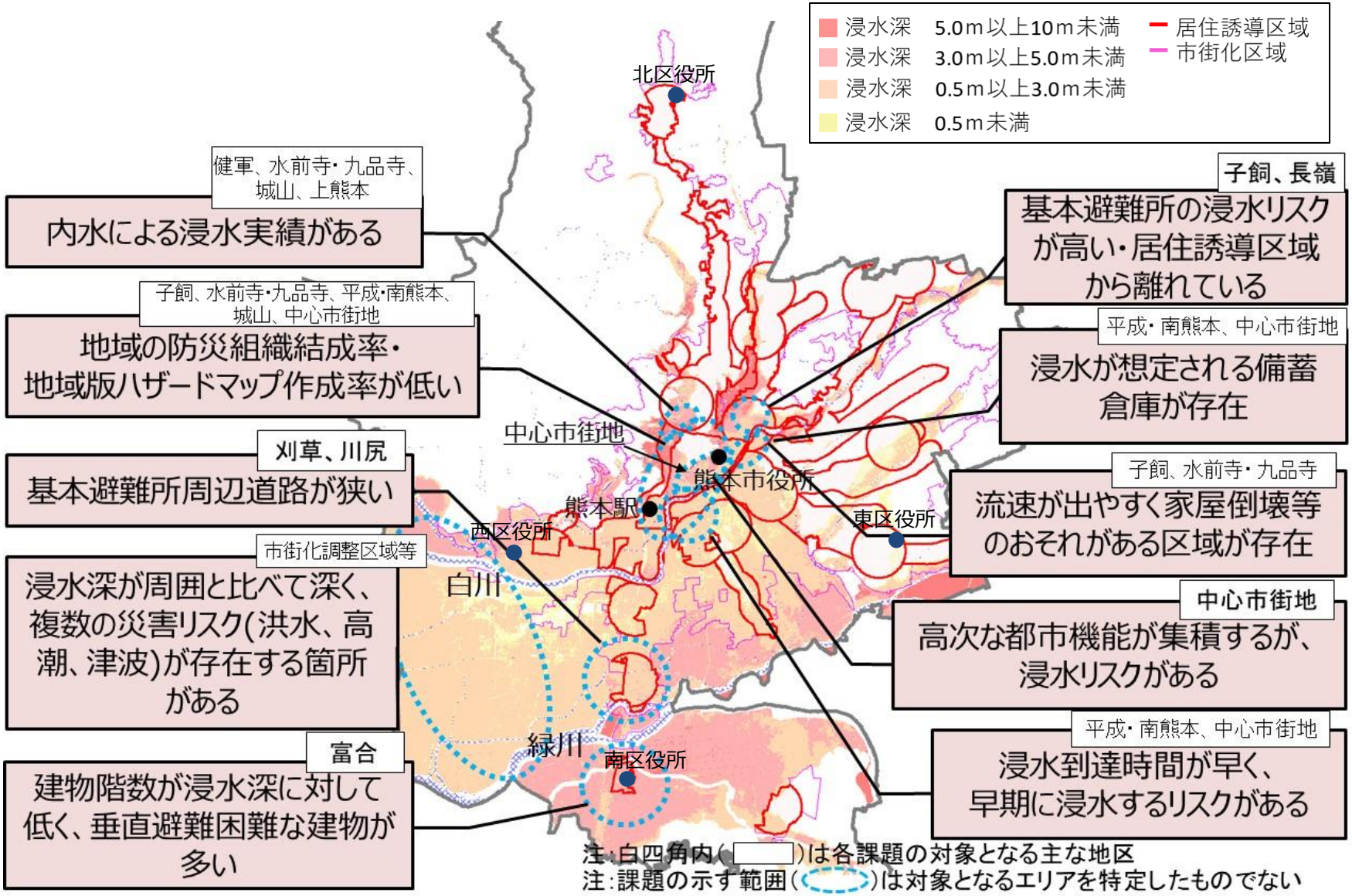
ハザード情報	都市の情報等	分析の視点
浸水深	建物階数	垂直避難で対応できるか
浸水到達時間	避難施設・備蓄倉庫の分布	避難施設・備蓄倉庫が活用できるか
家屋倒壊等氾濫想定区域	高齢者の分布	早期避難が必要か
浸水継続時間	道路等	早期に不通となる避難路がないか
		備蓄量が足りるか
		長期に道路が使用不可の地域がないか

取組・行動につながる目安
（一部抜粋）

・垂直避難に必要な建物階数
・避難所までの距離
・地域版ハザードマップ作成率　等

（２）防災視点の強化（「防災指針」の追加）

○各地区における分析結果を踏まえ、明らかになった主な課題を整理



注：白四角内（　　）は各課題の対象となる主な地区
注：課題の示す範囲（　　）は対象となるエリアを特定したものでない

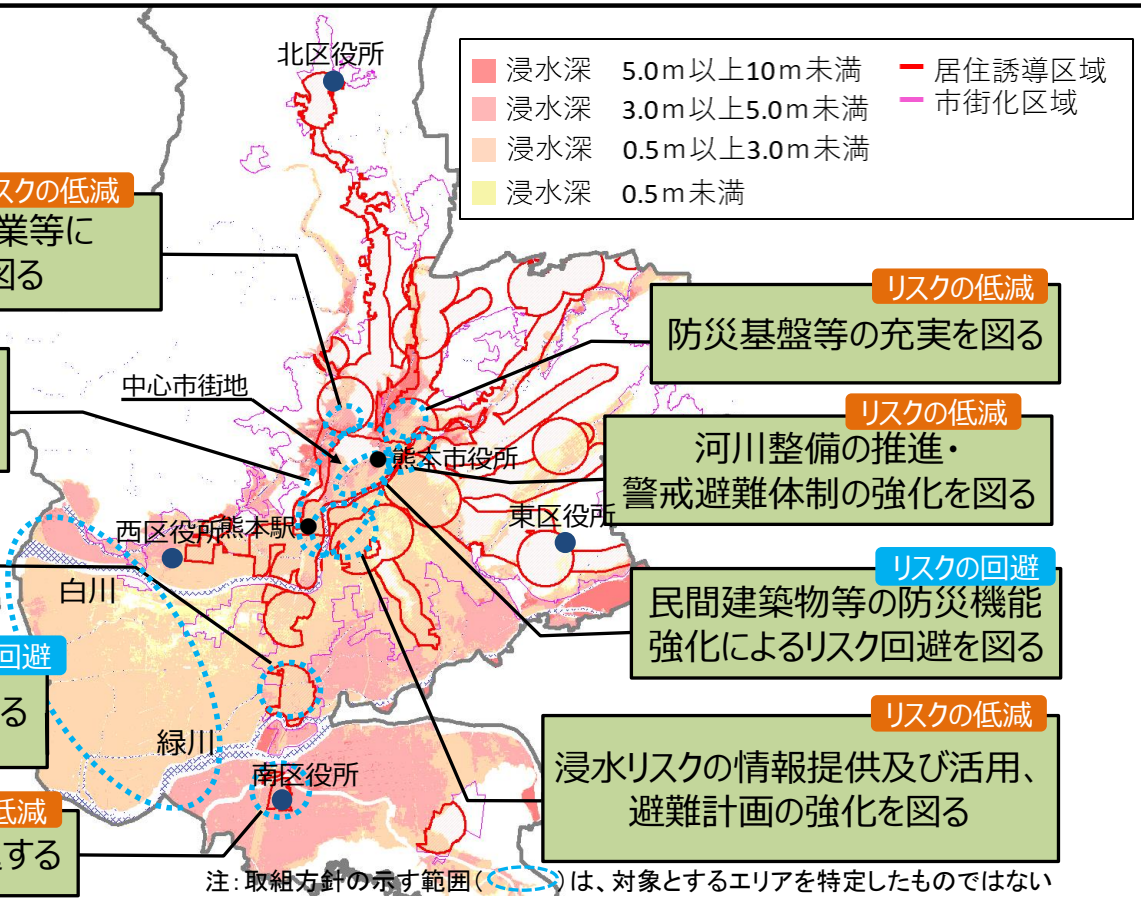
（２）防災視点の強化（「防災指針」の追加）

○抽出した課題を踏まえ、防災に関するまちづくりの将来像と取組方針を設定

まちづくりの将来像

市民・地域・行政が、居住誘導区域等における災害リスクを自覚し受け止めた上で、そのリスクや取組方針等を共有することで、具体的な行動と取組につなげていく、災害リスクと共存した多核連携都市

取組方針



リスクの低減
公共下水道雨水事業等による内水対策を図る

リスクの低減
地域の災害対応力の強化を図る

リスクの低減
避難所・避難路の充実を図る

リスクの回避
開発許可等を厳格化する

リスクの低減
地域外への避難を促進する

リスクの低減
防災基盤等の充実を図る

リスクの低減
河川整備の推進・警戒避難体制の強化を図る

リスクの回避
民間建築物等の防災機能強化によるリスク回避を図る

リスクの低減
浸水リスクの情報提供及び活用、避難計画の強化を図る

注：取組方針の示す範囲（　　）は、対象とするエリアを特定したものではない

（２）防災視点の強化（「防災指針」の追加）

○取組方針に基づき、災害リスクの回避、低減に資する具体的な取組を整理するとともに、整備（取組）目標 及び 効果目標を設定

具体的な取組(一部抜粋)

・民間建築物等の防災機能強化【災害リスク回避】（中期）
・河川整備推進【災害リスク低減（ハード）】（長期）
・校区防災連絡会などの設立推進【災害リスク低減(ソフト)】（短期）　等

整備(取組)目標

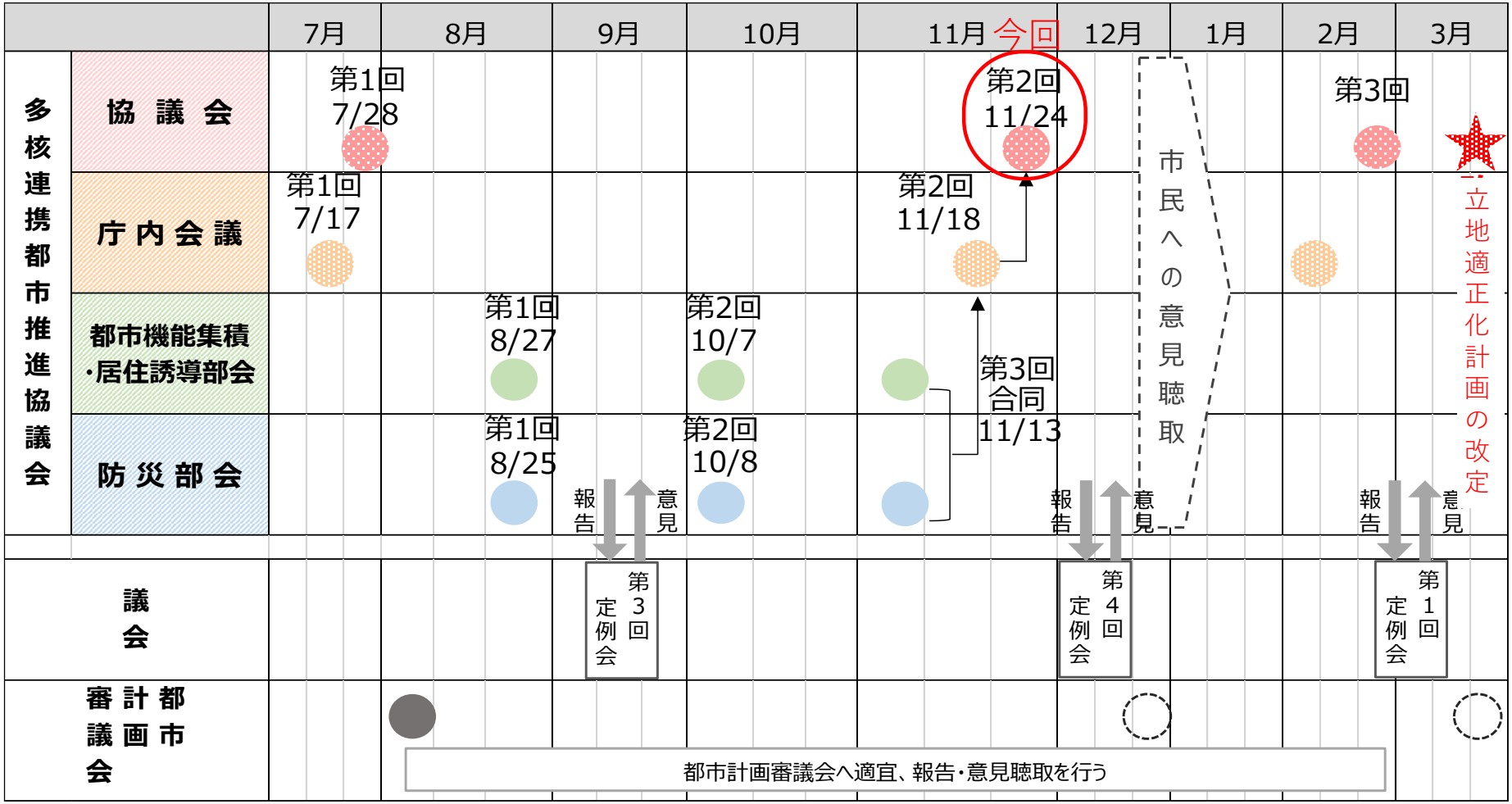
・まちなか再生プロジェクト（民間建築物の防災機能強化）の活用などにより、中心市街地の建築物の建替数について令和11年度までに100件を目指す。（市）
・緑川の現河川整備計画を令和25年度、白川の現河川整備計画を令和32年度までに完了（国）
・要配慮者利用施設における避難確保計画作成率を令和3年度までに100%(市民(施設管理者))
・自宅周辺の浸水リスク(浸水深)の認知度について、令和〇年度までに〇%（市）　等

効果目標

・計画規模降雨時の洪水浸水想定区域内居住人口の削減
（現状：約302,000人⇒R22：242,000人）
・地域防災力の向上（地域版ハザードマップの作成率（現状：42.9%⇒R5：64.9%)等）

●今後のスケジュール

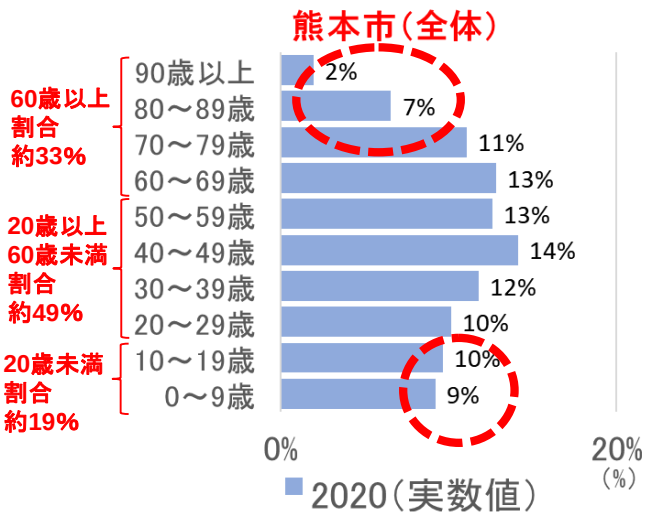
○12月議会で報告後、パブリックコメントを実施し、住民意見聴取。
○改めて第3回協議会にて、ご協議いただき、年度内の改定を目指す。

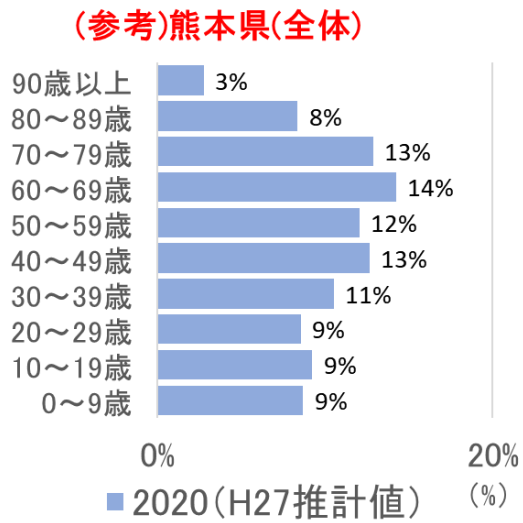


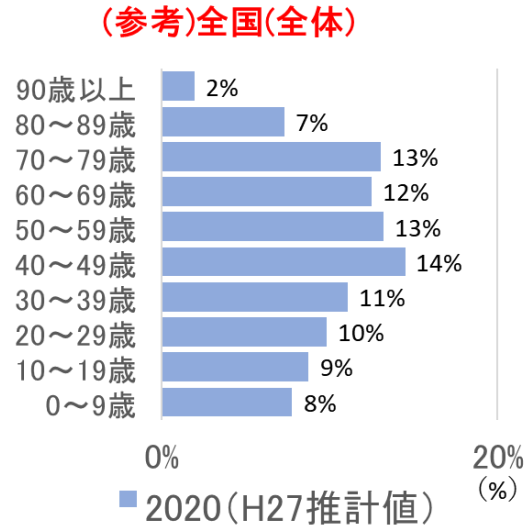
（参考）
各地区における人口分布と将来人口の推移

（参考）各地区における人口分布と将来人口の推移

○住民基本台帳データ（R4.1時点）及び将来推計人口データより、熊本市と、熊本県及び全国とを比較。







	人口	2020年との比較 (2020を100%とした割合)
2020年	728, 484	100%
2025年	725, 368	99. 57%
2030年	718, 849	98. 68%
2035年	709, 040	97. 33%
2040年	694, 795	95. 38%

▲熊本市の人口データ

	人口	2020年との比較 (2020を100%とした割合)
2020年	1, 742, 273	100%
2025年	1, 691, 314	97. 08%
2030年	1, 635, 901	93. 89%
2035年	1, 576, 825	90. 50%
2040年	1, 511, 793	86. 77%

▲(参考)熊本県の人口データ

	人口	2020年との比較 (2020を100%とした割合)
2020年	125, 324, 842	100%
2025年	122, 544, 102	97. 78%
2030年	119, 125, 137	95. 05%
2035年	115, 215, 698	91. 93%
2040年	110, 918, 554	88. 50%

▲(参考)全国の人口データ

※1:熊本市の2020年の数値は令和2年4月時点の住民基本台帳データに基づく町丁目人口(10歳刻み)。2025年～2040年の数値は将来推計人口。(参考データ(全国及び熊本県人口)はH27国勢調査より推計)

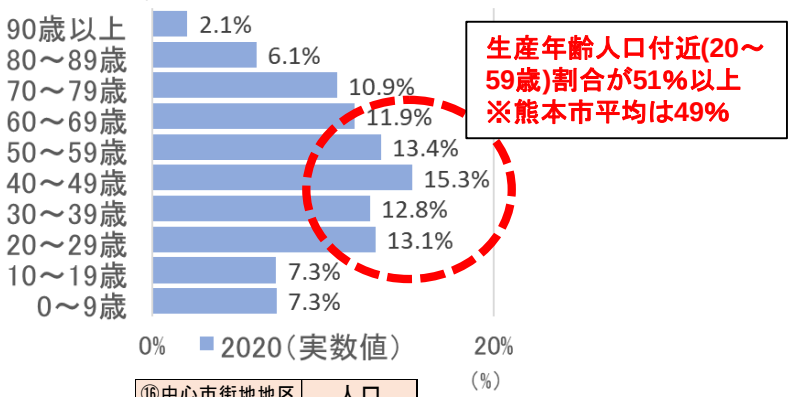
※2:居住誘導区域内人口は、市域を500mメッシュに分割した図のうち、区域に含まれるものを集計しデータ化している。

※3:各地域の将来推計人口は国立社会保障・人口問題研究所作成の「日本の地域別将来人口推計データより、熊本市全体の2040年までの人口推移割合を算出し、各地域に掛け合わせたもの。

（参考）各地区における人口分布と将来人口の推移

○各地区（居住誘導区域内）における人口分布と将来推計人口を基に、４つの型に分類。

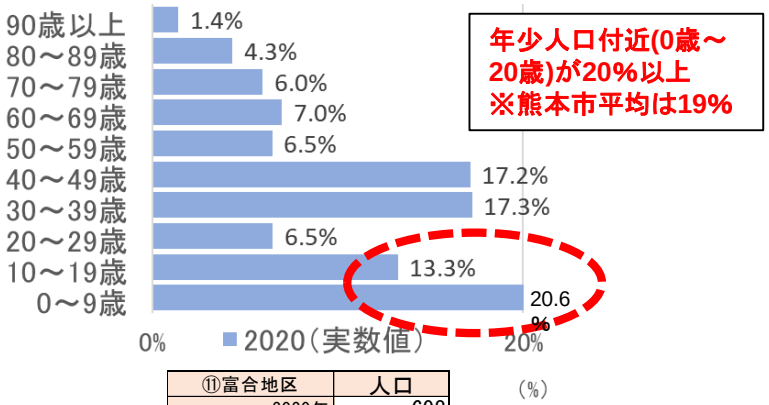
Ⅰ型(例 ⑯中心市街地地区)



⑯中心市街地地区	人口
2020年	33,006
2025年	32,990
2030年	32,814
2035年	32,501
2040年	31,959

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

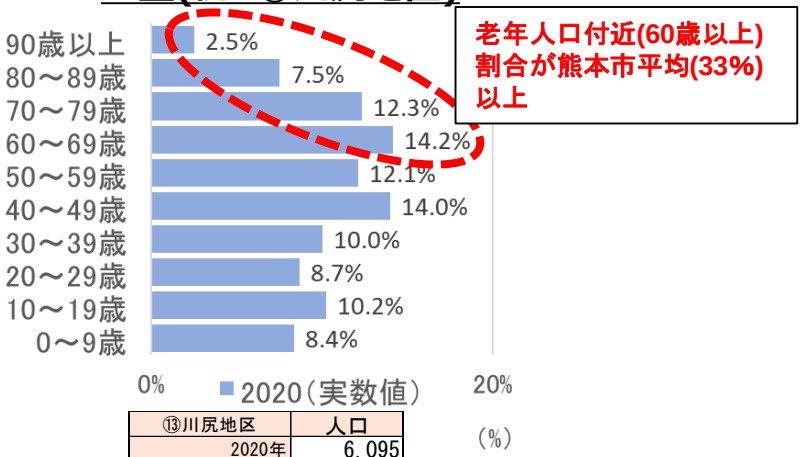
Ⅱ型(例 ⑪富合地区)



⑪富合地区	人口
2020年	698
2025年	698
2030年	694
2035年	688
2040年	676

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

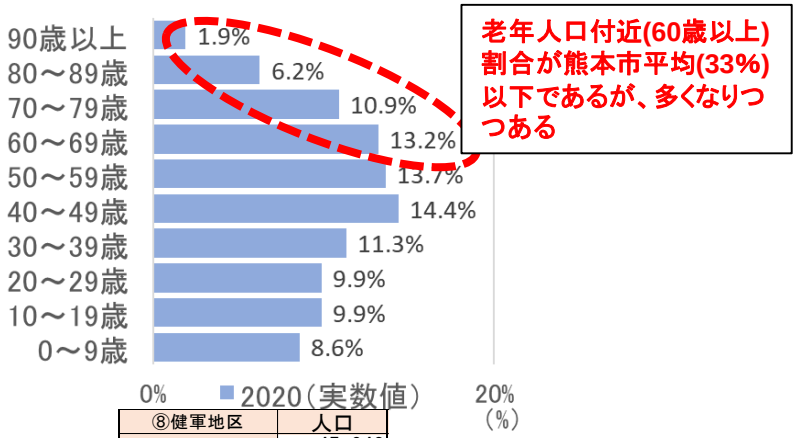
Ⅲ型(例 ⑬川尻地区)



⑬川尻地区	人口
2020年	6,095
2025年	6,092
2030年	6,060
2035年	6,002
2040年	5,902

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

Ⅳ型(例 ⑧健軍地区)



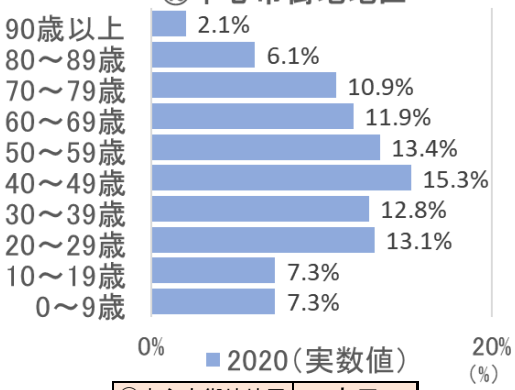
⑧健軍地区	人口
2020年	45,843
2025年	45,821
2030年	45,577
2035年	45,141
2040年	44,389

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

（参考）各地区における人口分布と将来人口の推移

○【Ⅰ型】生産年齢人口付近(20～59歳)が比較的多い(51%以上)地区
→中心市街地、子飼、水前寺・九品寺、平成・南熊本

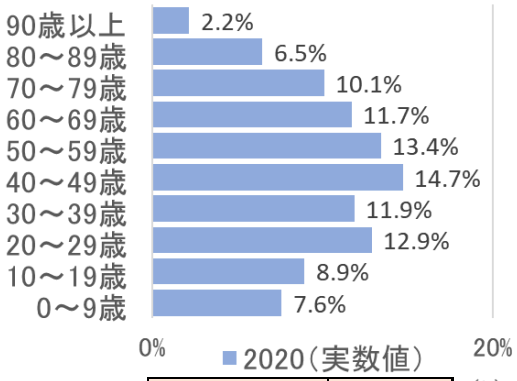
⑯中心市街地地区



⑯中心市街地地区	人口
2020年	33,006
2025年	32,990
2030年	32,814
2035年	32,501
2040年	31,959

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

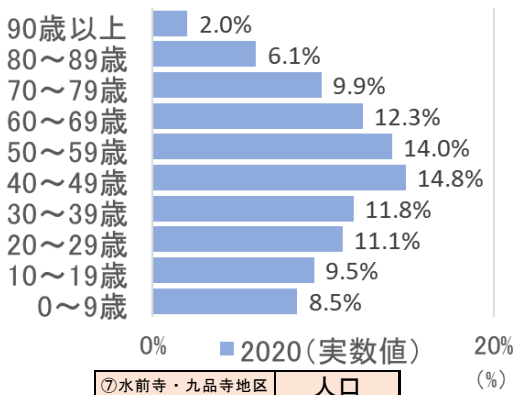
⑤子飼地区



⑤子飼地区	人口
2020年	38,951
2025年	38,933
2030年	38,725
2035年	38,355
2040年	37,717

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

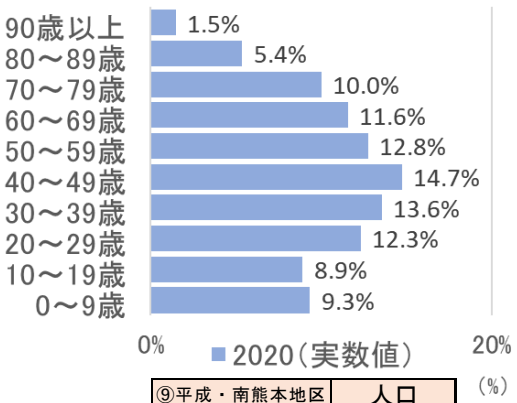
⑦水前寺・九品寺地区



⑦水前寺・九品寺地区	人口
2020年	70,121
2025年	70,087
2030年	69,714
2035年	69,047
2040年	67,898

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

⑨平成・南熊本地区



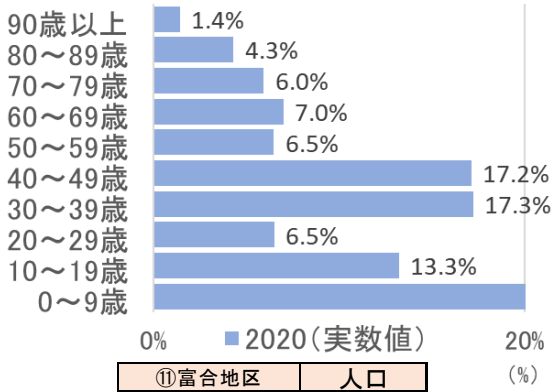
⑨平成・南熊本地区	人口
2020年	43,305
2025年	43,285
2030年	43,054
2035年	42,643
2040年	41,932

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

（参考）各地区における人口分布と将来人口の推移

○【Ⅱ型】年少人口付近(0～20歳)が比較的多い(20%以上)地区
→富合、北部、刈草、城南

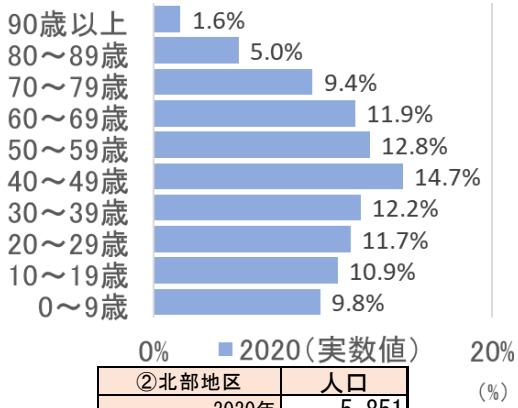
⑪富合地区



⑪富合地区	人口
2020年	698
2025年	698
2030年	694
2035年	688
2040年	676

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

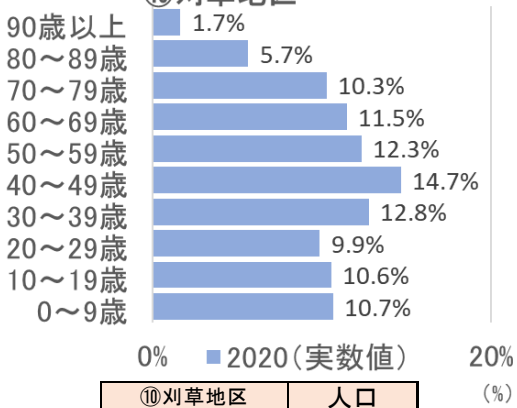
②北部地区



②北部地区	人口
2020年	5,851
2025年	5,848
2030年	5,817
2035年	5,761
2040年	5,666

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

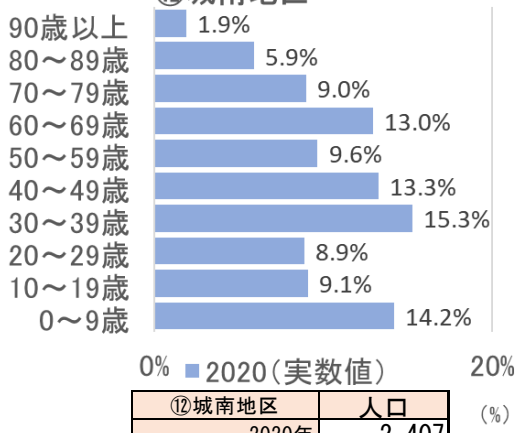
⑩刈草地区



⑩刈草地区	人口
2020年	15,098
2025年	15,091
2030年	15,011
2035年	14,867
2040年	14,620

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

⑫城南地区



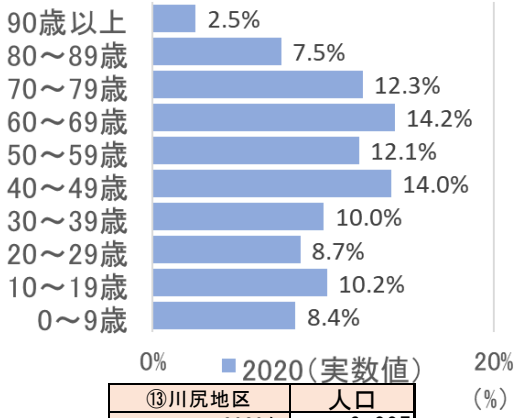
⑫城南地区	人口
2020年	2,407
2025年	2,406
2030年	2,393
2035年	2,370
2040年	2,330

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

（参考）各地区における人口分布と将来人口の推移

○【Ⅲ型】老年人口付近(60歳以上)が市全体平均(約33%)より多い地区
→川尻、楠・武蔵ケ丘、八景水谷・清水亀井、上熊本

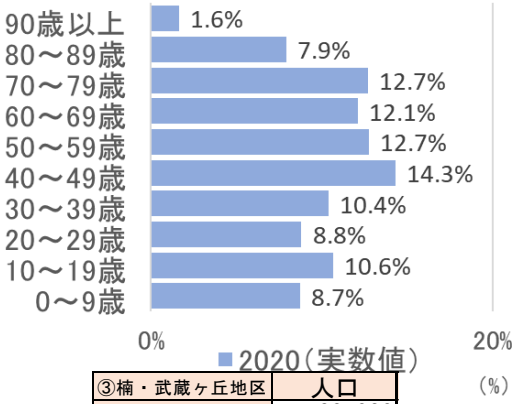
⑬川尻地区



⑬川尻地区	人口
2020年	6,095
2025年	6,092
2030年	6,060
2035年	6,002
2040年	5,902

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

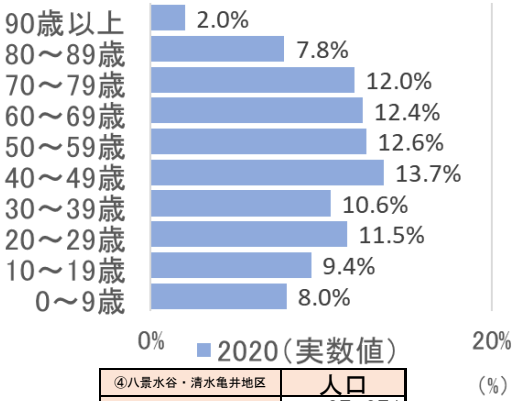
③楠・武蔵ケ丘地区



③楠・武蔵ケ丘地区	人口
2020年	28,838
2025年	28,824
2030年	28,670
2035年	28,396
2040年	27,923

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

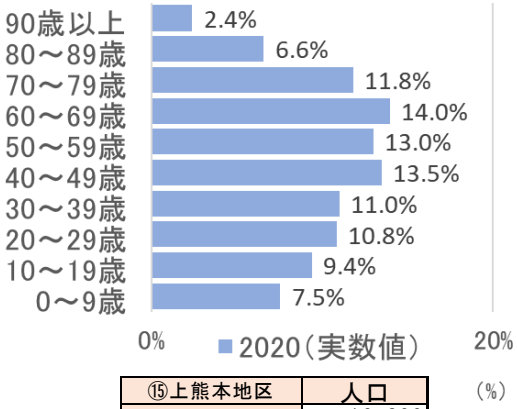
④八景水谷・清水亀井地区



④八景水谷・清水亀井地区	人口
2020年	27,271
2025年	27,258
2030年	27,112
2035年	26,853
2040年	26,406

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

⑮上熊本地区



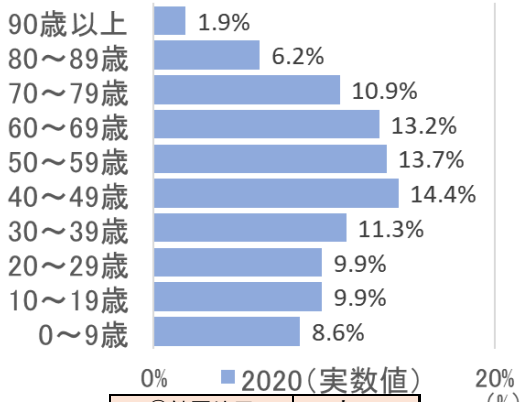
⑮上熊本地区	人口
2020年	16,299
2025年	16,291
2030年	16,204
2035年	16,049
2040年	15,782

※人口は地区内
居住誘導区域の人口

（参考）各地区における人口分布と将来人口の推移

○【Ⅳ型】老年人口付近(60歳以上)が市全体平均(約33%)以下だが、やがてⅢ型に近づくと思われる地区　→健軍、植木、長嶺、城山

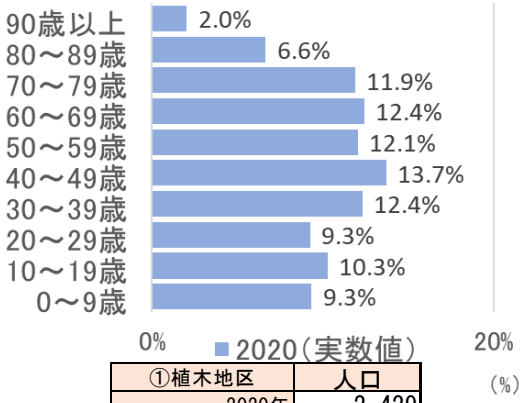
⑧健軍地区



⑧健軍地区	人口
2020年	45,843
2025年	45,821
2030年	45,577
2035年	45,141
2040年	44,389

※人口は地区内居住誘導区域の人口

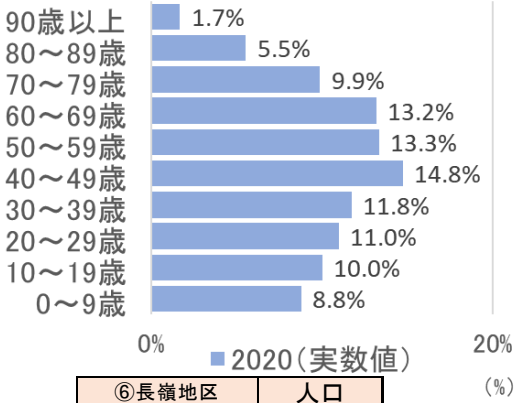
①植木地区



①植木地区	人口
2020年	2,429
2025年	2,428
2030年	2,415
2035年	2,392
2040年	2,352

※人口は地区内居住誘導区域の人口

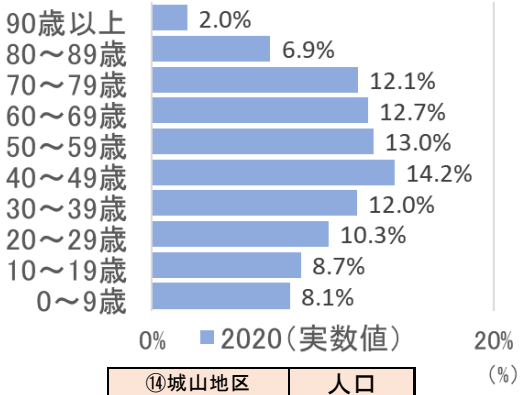
⑥長嶺地区



⑥長嶺地区	人口
2020年	55,759
2025年	55,732
2030年	55,435
2035年	54,905
2040年	53,991

※人口は地区内居住誘導区域の人口

⑭城山地区



⑭城山地区	人口
2020年	21,735
2025年	21,725
2030年	21,609
2035年	21,402
2040年	21,046

※人口は地区内居住誘導区域の人口

（参考）各地区における人口分布と将来人口の推移

地区名（居住誘導区域）	2020年4月時点人口（住民基本台帳データより）											2020を1とした場合の割合（①～⑯及び熊本市共通）⇒	99.95%	99.40%	98.50%	96.80%
	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	総数		2025（推計値）	2030（推計値）	2035（推計値）	2040（推計値）
①植木地区	227	250	225	300	333	293	302	289	161	49	2,429		2,428	2,415	2,392	2,352
	9.3%	10.3%	9.3%	12.4%	13.7%	12.1%	12.4%	11.9%	6.6%	2.0%						
②北部地区	576	636	682	715	862	748	698	549	293	93	5,851		5,848	5,817	5,761	5,666
	9.8%	10.9%	11.7%	12.2%	14.7%	12.8%	11.9%	9.4%	5.0%	1.6%						
③楠・武蔵ヶ丘地区	2,515	3,069	2,532	3,003	4,132	3,674	3,495	3,669	2,280	470	28,838		28,824	28,670	28,396	27,923
	8.7%	10.6%	8.8%	10.4%	14.3%	12.7%	12.1%	12.7%	7.9%	1.6%						
④八景水谷・清水亀井地区	2,173	2,567	3,139	2,885	3,727	3,446	3,390	3,264	2,132	549	27,271		27,258	27,112	26,853	26,406
	8.0%	9.4%	11.5%	10.6%	13.7%	12.6%	12.4%	12.0%	7.8%	2.0%						
⑤子飼地区	2,963	3,485	5,019	4,639	5,729	5,234	4,572	3,937	2,520	852	38,951		38,933	38,725	38,355	37,717
	7.6%	8.9%	12.9%	11.9%	14.7%	13.4%	11.7%	10.1%	6.5%	2.2%						
⑥長嶺地区	4,982	5,680	6,238	6,672	8,374	7,565	7,483	5,613	3,135	953	55,759		55,732	55,435	54,905	53,991
	8.8%	10.0%	11.0%	11.8%	14.8%	13.3%	13.2%	9.9%	5.5%	1.7%						
⑦水前寺・九品寺地区	5,933	6,634	7,810	8,273	10,394	9,833	8,631	6,931	4,249	1,433	70,087		70,087	69,714	69,047	67,898
	8.5%	9.5%	11.1%	11.8%	14.8%	14.0%	12.3%	9.9%	6.1%	2.0%						
⑧健軍地区	3,934	4,529	4,528	5,193	6,596	6,268	6,064	5,005	2,859	868	45,843		45,821	45,577	45,141	44,389
	8.6%	9.9%	9.9%	11.3%	14.4%	13.7%	13.2%	10.9%	6.2%	1.9%						
⑨平成・南熊本地区	4,042	3,857	5,328	5,871	6,371	5,534	5,021	4,327	2,323	635	43,305		43,285	43,054	42,643	41,932
	9.3%	8.9%	12.3%	13.6%	14.7%	12.8%	11.6%	10.0%	5.4%	1.5%						
⑩刈草地区	1,678	1,657	1,549	2,004	2,305	1,937	1,801	1,618	889	259	15,098		15,091	15,011	14,867	14,620
	10.7%	10.6%	9.9%	12.8%	14.7%	12.3%	11.5%	10.3%	5.7%	1.7%						
⑪富合地区	144	93	45	121	120	45	49	42	30	10	698		698	694	688	676
	20.6%	13.3%	6.5%	17.3%	17.2%	6.5%	7.0%	6.0%	4.3%	1.4%						
⑫城南地区	341	218	213	368	320	232	312	216	142	45	2,407		2,406	2,393	2,370	2,330
	14.2%	9.1%	8.9%	15.3%	13.3%	9.6%	13.0%	9.0%	5.9%	1.9%						
⑬川尻地区	509	624	528	612	852	739	865	752	460	153	6,095		6,092	6,060	6,002	5,902
	8.4%	10.2%	8.7%	10.0%	14.0%	12.1%	14.2%	12.3%	7.5%	2.5%						
⑭城山地区	1,754	1,893	2,250	2,611	3,080	2,822	2,750	2,625	1,505	445	21,735		21,725	21,609	21,402	21,046
	8.1%	8.7%	10.3%	12.0%	14.2%	13.0%	12.7%	12.1%	6.9%	2.0%						
⑮上熊本地区	1,230	1,529	1,767	1,794	2,195	2,116	2,278	1,928	1,073	390	16,299		16,291	16,204	16,049	15,782
	7.5%	9.4%	10.8%	11.0%	13.5%	13.0%	14.0%	11.8%	6.6%	2.4%						
⑯中心市街地	2,403	2,400	4,325	4,222	5,038	4,428	3,914	3,586	2,014	677	33,006		32,990	32,814	32,501	31,959
	7.3%	7.3%	13.1%	12.8%	15.3%	13.4%	11.9%	10.9%	6.1%	2.1%						
熊本市全域	67,321	70,583	74,162	86,175	103,363	92,084	93,642	81,056	47,917	14,285	730,588		726,734	719,841	709,712	695,085
	7.3%	7.3%	13.1%	12.8%	15.3%	13.4%	11.9%	10.9%	6.1%	2.1%						
（参考）熊本県	151,574	160,779	149,075	183,439	220,712	210,050	248,024	224,619	145,948	48,053	1,742,273		1,691,314	1,635,901	1,576,825	1,511,793
	7.3%	7.3%	13.1%	12.8%	15.3%	13.4%	11.9%	10.9%	6.1%	2.1%						
（参考）全国	9,748,382	10,972,038	12,339,576	13,912,831	18,168,280	16,572,718	15,658,256	16,344,247	9,145,293	2,463,219	125,324,840		122,544,102	119,125,137	115,215,698	110,918,554
	7.3%	7.3%	13.1%	12.8%	15.3%	13.4%	11.9%	10.9%	6.1%	2.1%						